

ただかわばし
只川橋



しゅようちほうどう しもにた あんなか くらふちせん よしだ まやま わた
主要地方道の下仁田・安中・倉澁線が、吉田から馬山に渡ると
きに通る かつらかわ か はし ふる はし とい した お
きに通る かつらかわ か はし ふる はし とい した お
馬山側の岩井建設砂利採取場に渡った木橋で、水が出るとよく
なが なが
流された。めいじ ねん だいこうすい
流された。明治43年の大洪水で、それまであった木橋が流され
た。その後、現在のところよりやや上流に、幅9尺(約30cm)
のつりばし か
のつり橋が架けられただけだった。そして、げんざい はし しょうわ ねん
現在の橋は、昭和6年
に完成したもので、このとき あたら どうろ つく
に完成したもので、このとき新しく道路も作られた。